

赤ちゃんの

# きこえの検査 ~新生児聴覚検査~

についての案内

生まれてくる赤ちゃんの健やかな成長はみんなの願いです。  
しかし、生まれてくる赤ちゃんの1,000人のうち1~2人は、生まれつき耳のきこえに障害を持つと言われていました。  
その場合には、早く発見して適切な援助をしてあげることが赤ちゃんの言葉と心の成長のためにはとても大切です。  
きこえの障害は目に見えないため気づかれにくいものですが、早期に発見するためにも、この「新生児聴覚検査」を受けられることをおすすめします。



Q

## どんな検査ですか？

赤ちゃんがぐっすり眠っている時に小さな音を聞かせ、その際の反応波形を測定することで、耳のきこえが正常かどうかを自動的に判定する検査です。出産した医療機関で、赤ちゃんの入院中に行います。数分間で安全に行える検査で、痛みは全くありませんし、副作用もありません。また、薬も使いません。検査結果は、「パス」「要再検査(リファー)」のいずれかで、入院中にお知らせします。

Q

## すべての赤ちゃんが検査を受けた方がよいですか？

耳のきこえに障害があるかどうかは、外見ではわかりにくく、赤ちゃんの様子だけから判断することは困難です。

そのため、早期に障害を発見するために、検査を受けることをおすすめします。

※ 検査費用は、自己負担となります。医療機関毎に定められていますので、受診する医療機関にお問い合わせください。

※ 検査を実施している医療機関と実施していない医療機関があります。また、外来で実施している医療機関もありますので、詳しくは、主治医にご相談ください。

Q

## 検査の結果が「パス」だったときは？

検査に「パス」した赤ちゃんの場合にも、成長の過程で中耳炎やおたふくかぜなど後になって耳のきこえが悪くなる場合もあります。

子どもの成長や発達は一人生り違いますが、耳のきこえだけでなく、お子さんの発達の全体を含めて見ていくことが、健やかな成長を見守る上でとても大切なことです。

心配な時は、お住まいの市町村の保健師にご相談ください。

